



身近なみどり整備推進事業
優良事例集

平成30年8月

茨城県農林水産部林政課

目 次

(平成29年度事業)

- 1 青蓮寺周辺の山林における森林整備 (常陸太田市)
- 2 市立高萩小学校通学路沿いの森林整備 (高萩市)
- 3 通学路沿いの森林整備 (茨城町)
- 4 通学路沿いの森林整備 (城里町)
- 5 大蔵長作山における有害鳥獣対策のための森林整備 (鉾田市)
- 6 龍会城跡の整備 (鹿嶋市)
- 7 通学路沿いの森林整備 (土浦市)
- 8 根小屋地区における森林整備 (石岡市)
- 9 久能・上大野・上片田・五部・尾崎・谷貝における森林整備
(古河市)
- 10 桜川市本木における有害鳥獣対策のための森林整備 (桜川市)

身近なみどり整備推進事業における事例（1）

青蓮寺^{しやうれんじ}周辺の山林における森林整備（常陸太田市）

青蓮寺は、200年もの昔、旅の途中で倒れた父親を尋ねて大分県臼杵市^{うすき}から1,200kmもの旅をした二人の娘の物語「二孝女物語」にまつわる寺院であります。

当該寺院は、長年住職が不在であったことから荒廃が進み、住職就任後も周辺の山林の手入れは行き届かず、付近は鬱蒼とした状態でした。

そこで、身近なみどり整備推進事業により、下刈りや整理伐の森林整備(1.20ha)を行い、青蓮寺門徒会が維持管理することで、荒廃森林の解消を図ることができました。

今後は、地域住民がより利用しやすい場として期待できるとともに、二孝女物語が縁で始まった臼杵市との交流の場として、良好な環境を提供することができます。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（2）

市立高萩小学校通学路沿いの森林整備（高萩市）

高萩市大字高萩地区の幹線市道に隣接する市有林は整備が行き届かず、樹木の枝が大きくなり道路をまたいで歩道まで伸びていました。この市道は市立高萩小学校の通学路となっているため、安全面の観点から整備が必要となっていました。

そこで、身近なみどり整備推進事業を活用し、当該森林(0.99ha)の整理伐や刈払いをしました。その結果、市道にはみ出していた樹木もなくなり、児童が安心して歩ける明るい景観となりました。



整備前



整備前



整備後



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（3）

上雨ヶ谷地区通学路沿いの森林整備（茨城町）

本事業を実施した上雨ヶ谷地区森林では通学路となっている町道 114 号・4172 号線に面していますが、手入れが行き届いておらず見通しが悪く昼間でも薄暗い状況であり、そのため小中学生の通学時をはじめ、地域住民の安全確保の観点から整備を望む声が上がっていました。

そこで、本事業において道路沿いの総延長 337 m の森林 (1.30ha) で刈払い・整理伐を行いました。

その結果、森林の見通しが良くなり、通学路沿いの安全性が高まるとともに、景観の回復を図ることができました。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（４）

桜ノ牧高校常北校通学路沿いの森林整備（城里町）

城里町春園地区の桜ノ牧高校常北校およびその通学路に隣接する山林では、手入れがされておらず見通しが悪く薄暗い状況であり，安全性を確保するための整備を望む声が上がっていました。

そこで，本事業において，道路沿いの総延長約80mの森林(1.09ha)で刈払い・整理伐を行いました。

その結果，林内に光が差し込み，見通しもよくなり，視界が確保されたことで通行の安全性が向上しました。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（5）

大蔵長作山における有害鳥獣対策のための森林整備（銚田市）

銚田市大蔵（長作山）地内では、近年、イノシシによる農作物被害が激増しています。その理由として、荒廃した森林がイノシシの隠れ家となるとともに、畑のすぐ近くまである藪がイノシシの隠れ蓑となって、容易に農作物へたどり着けてしまうことが考えられました。

そこで、森林内の下草刈りと竹林整備(0.74ha)を行ったところ、見通しが良くなり、隠れ家になるような場所が減少したことで、イノシシが容易に畑へ出てくることのできない環境となりました。

今後は、イノシシによる農作物への被害の軽減が期待できます。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（6）

龍会城跡の整備（鹿嶋市）

鹿嶋市山之上地区の事業実施箇所は、「龍会城（りゅうかいじょう）」の城跡です。龍会城は鹿島氏が築いたと考えられており、歴史的価値のある土塁が残っています。しかし、近年は低木や下草が生い茂り、足を踏み入れるのも困難な状態で、地元住民から整備を求める声が上がっていました。

そこで、森林内の下草刈りや整理伐を行ったところ、見通しが良くなり、高さ3mほどある土塁の存在がはっきりとわかるようになりました。

今後は、地元の歴史に触れることができる場所として住民に愛されることはもちろん、訪れた人々が散策を楽しむ憩いの場として利用されることが期待できます。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（7）

藤沢小学校通学路沿いの森林整備（土浦市）

藤沢地区の藤沢小学校の児童の通学路付近の森林は、手入れはされているものの、所有者のみでは管理が行き届かない状況で、歩道にも覆い被さる様に枝が伸び、見通しも悪く、歩行に支障がある状態でした。

そこで整理伐等を実施し、見通しが良くなったことで、通学路としての安全性が高まり、かつ地域の景観の回復も図ることができました。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（8）

根小屋地区における森林整備（石岡市）

根小屋地区の森林は市道に接しており、この市道は地域住民だけではなく、一般車両の通行も多い場所です。しかしながら手入れが行き届かず、日当たりが悪く見通しも良くない状態でした。

そこで、整理伐や下刈りを実施したことにより、日当たりや見通しも改善され、枯損木の倒木の恐れも無くなったことで、安全性も確保されるようになりました。



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（9）

古河市久能・上大野・上片田・五部・尾崎・谷貝における森林整備

古河市久能・上大野・上片田・五部・尾崎・谷貝の平地林は、手入れ不足により灌木類が繁茂したことで林内の見通しが悪い状態でした。また、生い茂った草木が歩道側に侵入し、歩行者の通行の支障になっていたため、景観の悪化や通行の安全性の低下が懸念されていました。

そこで当事業により、下刈りや間伐を実施したところ、林内の見通しがよくなったことで景観が回復し、隣接する歩道の安全性も向上しました。



整備前



整備後



整備前



整備後

身近なみどり整備推進事業における事例（10）

桜川市本木における有害鳥獣対策のための森林整備（桜川市）

桜川市における山林に隣接する水田では、ここ数年、イノシシ等の有害鳥獣による被害が相次いで確認されており、地域をあげた獣害対策が必要とされていました。

そこで、有害鳥獣対策としての里山林整備の観点から本事業を活用し、山林の刈り払い・間伐を行いました。

その結果、山林内の見通しが良くなり、山林と農作地帯との間にイノシシが近づきにくい緩衝帯が整備されました。

今後、本事業を活用した地区における鳥獣害被害の減少が期待できます。



整備前



整備後



整備前



整備後